※令和４年度以降入学生用

学校番号	217

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「公共」（実教出版）						
副教材等	使用せず						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・よりよい社会の実現のために、個人の尊重や民主主義、法の支配など、公共的空間を保つための基本的な原理を正しく理解しよう。
・わが国における憲法や法律、政治の基礎的理論を学び、現代社会の諸課題をどのように解決していけばよいのか、問題点を調べ、解決方法を探求する姿勢を身につけよう。
・将来の主権者として、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関して学び、身近な問題に取り組んでいく力を身につけよう。
・国際社会の国家関係などを学び、国際社会における日本の役割や、国際人としての個人の自覚を深め、世界的諸課題に対する解決への姿勢を身につけよう。

２　学習の到達目標

・現代社会の諸課題の解決にむけて、事実をもとに、多面的・多角的に考察し、公正に判断する力を養う。
・積極的で主体的な課題解決の姿勢を身につけることで、将来の社会参画を視野にいれながら、さまざまな立場の意見を尊重し、各個人や各社会が協力し合うことの必要性についての自覚を深める。
・考察・選択・判断のための手掛かりとなる基礎的概念や理論を理解し、さまざまな資料から必要な情報を適切に調べ、まとめ、表現する技能を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題をとらえ、考察し、選択するための手掛かりとなる概念や理論を理解するとともに、社会的諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的な原理を活用し、事実をもとに多面的・多角的に考察し、公正に判断する力がある。将来の社会参画や、民衆の合意形成を視野に入れながら、新たな提案や構想したことについて議論する力がある。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身につける。多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方や生き方についての自覚や、公共的空間に生き、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図る自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	社会を作る私たち	・青年期とは ・自己形成の課題 ・職業生活と社会参加 ・伝統文化と私たち	a:自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 b: 社会に参画する自立した主体とは、様々な集団の一員として生き、他者との協働により公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 青年期の意義や発達課題、日本人の伝統的な考え方や文化への理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	考査 確認テスト 考査	ワークシート ワークシート ワークシート	振り返りシート ワークシート
	人間としてよく生きる	・古代ギリシアの人間観 ・科学と人間 ・自由の実現 ・社会をつくる人間	a: 人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの立場を理解し、高め合うことのできる社会的な存在であることについて理解している。 b: 人間は、自立した主体として、地域社会などの様々な集団の一員として生き、国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 自己形成や理想的な人間の生き方や幸福について、多面的・多角的な考察や理解を通して、社会に参画する自立した主体についての自覚を深めようとしている。	考査 確認テスト 考査	ワークシート レポート課題 考査	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

１学期	他者とともに生きる	・人間と幸福 ・公正な社会をめざして	a: 個人の幸福と社会の幸福の調和をめざしたベンサムとミルの考え方を理解している。公正な社会のあり方についてのロールズの考え方を理解している。 b: 生殖医療と自己決定権や、安楽死・尊厳死といった生命倫理の課題について、協働的に考察・構想し，それらを適切に表現している。 c: 個人の幸福と社会の幸福についての先哲の考え方への深い理解を通して、公共的な空間における人間としてのあり方生き方についての自覚を深めようとしている。	考査 確認テスト	ワークシート	 振り返りシート
	民主社会の倫理	・人間の尊厳と平等 ・自由･権利と責任･義務	a: 人間の尊厳や平等について、背景にある生命尊重と非暴力の思想や、個人尊重の考え方を理解している。個人の自由・権利が認められるには、他者の自由・権利との調整が求められることについて理解している。 b: 現実社会における差別の問題や、それらの問題を解決するための望ましい方策について、協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、人間の尊厳と平等、個人の尊重、個人の自由や権利といった公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	 考査	ワークシート	振り返りシート ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

1学期	民主国家における基本原理	・民主政治の成立 ・民主政治の基本原理 ・民主政治のしくみと課題 ・世界の主な政治制度	a: 政治と国家、政府が何であるかについて理解し、民主政治が成立した経過と基本原理について理解している。議院内閣制・大統領制などの各国の政治制度の特徴について理解している。 b: 社会契約説形成や、自由権の保障から社会権の保障へと向かっていった歴史的背景に関して協働的に考察し、それらを適切に表現している。多数決の長所と短所について、協働的に考察・構想しそれらを適切に表現している。 c: よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、民主主義、法の支配といった公共的な空間における基本的な原理について理解しようとしている。	考査 考査 確認テスト	ワークシート 考査	ワークシート ワークシート 振り返りシート
	日本国憲法の基本的性格	・日本国憲法と基本的性格 ・自由に生きる権利 ・平等に生きる権利 ・社会権と参政権・請求権 ・新しい人権 ・平和主義とわが国の安全	a: 法規範の役割に関する社会の事柄や課題を基に、各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を解決することを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、されていくことについて理解している。 b: 自立した主体として解決が求められる具体的なテーマを設定し、問題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c: 各種の基本的人権が保障されていることの意義を知り、関心が高まっている。また、たとえば平等権と社会的な差別の諸課題について多面的かつ主体的に考察し、よりよい社会の実現を視野に、学習したことを社会の改善に生かそうとしている。	考査 確認テスト 考査 考査	レポート課題 考査 ワークシート ワークシート	ワークシート ワークシート ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

2学期	日本の政治機構と政治参加	・政治機構と国会 ・行政権と行政機能の拡大 ・公正な裁判の保障 ・地方自治と住民福祉 ・政党政治 ・選挙制度 ・世論と政治参画	a: 司法参加の意義や、公正な世論の形成、地方自治に関して、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して公共空間が築かれていることについて理解している。 b:合意形成や社会参画を視野に入れながら、課題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c: よりよい社会の実現のために、多面的・多角的な考察や深い理解を通じ、司法参加、政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	考査 確認テスト 考査 確認テスト 考査	ワークシート 考査 ワークシート レポート課題 ワークシート	振り返りシート 振り返りシート ワークシート 振り返りシート
	現代の経済社会	・経済主体と経済活動の意義 ・経済社会の変容 ・市場の仕組みと市場の失敗 ・現代の企業 ・国民所得 ・金融の役割 ・日本銀行の役割 ・財政の役割と租税 ・日本財政の課題	a: 雇用と労働問題、財政及び租税の役割、社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関して、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して、資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させる役割を政府などが担っていることについて理解している。 b: 資源の効率的な配分や、景気変動による国民生活と企業の成長への影響や、政府や日本銀行の適切な諸政策について、多面的・多角的に考察・構想したことを、論拠をもって表現している。 c: 雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	考査 考査 考査 確認テスト 考査 考査 考査 考査 考査	考査 ワークシート ワークシート 考査 ワークシート 考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート ワークシート 振り返りシート ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

2学期	日本経済の特質と国民生活	・日本経済の成長と課題 ・経済社会の変化と中小企業 ・農業と食糧問題 ・消費者問題 ・公害の防止と環境保全 ・労働問題と労働者の権利 ・社会保障の役割	a: 多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、社会保障の充実・安定化などに関して、公正かつ自由な経済活動を行うことで資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させる役割を政府が担っていることなどについて理解している。 b: 経済的課題、農業食糧問題、消費者問題、労働問題や社会保障における課題などの解決に向けて、事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 c: 多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	考査 確認テスト 考査 確認テスト 考査	ワークシート 考査 ワークシート ワークシート 考査 ワークシート	ワークシート 振り返りシート 振り返りシート
3学期	国際政治の動向と課題	・国際社会と国際法 ・国際連合と国際協力 ・現代の国際政治 ・人種・民族問題 ・軍拡競争から軍縮へ ・国際平和と日本の役割	a: 国家主権や、わが国の安全保障と防衛、国際社会におけるわが国の役割などに関わる事柄や課題を理解している。国際法の意義と役割、国家の役割などについて理解している。 b: 国際社会における政治問題や外交問題、民族問題などその要因を多面的・多角的に考察し、解決するべき課題について協働できるような提案をし、それらを適切に表現している。 c: 国家主権、領土、わが国の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会におけるわが国の役割などに関わる現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	考査 確認テスト 考査 考査 考査	ワークシート 考査 レポート課題 ワークシート	振り返りシート ワークシート 振り返りシート ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

３学期	国際経済の動向と課題（持続的な社会づくりも含む）	・貿易と国際収支 ・外国為替市場のしくみ ・第二次世界大戦後の国際経済 ・地域的経済統合の進展 ・国際経済のつながりと課題 ・発展途上国の課題と日本の役割 ・持続的な社会づくりと国際経済	a: 経済のグローバル化によって、世界経済がより緊密に結び付き、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えるなど、国際社会において相互依存関係が一層深まっていること、国際社会における貧困や格差が解消されていない状況や、これらの解決が地球的課題であることについて理解している。 b:自由貿易が世界経済の発展に対してどのような影響を与えるのか、公正な国際貿易体制とはどのようなものか、国際社会における貧困や格差を解消するために、日本や私たちがなすべきことはなにかなどについて協働的に考察・構想し、それらを適切に表現している。 c: 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、経済のグローバル化と相互依存関係などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし、諸課題を主体的に解決しようとしている。	考査 確認テスト 考査 確認テスト 考査	ワークシート ワークシート 考査 ワークシート ワークシート	 振り返りシート ワークシート 振り返りシート ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度